

13006 労作体験教育 a、b、c Distributive Education		2 年次～ 通年 4 単位	
担当者	岩崎 哲郎	履修可能学科	E Pe必 Pc C W F
		関連資格	教職(P e)
サブタイトル	自然と人間とのかかわりを探る		
授業内容 ・ ねらい	<p>種々の労作体験を通して、自然との関わりや地域の人々の生活を考えるとともに、生活上必要な習慣や技能を修得する。さらに、児童教育における労作体験の意義や効果を検討し、「生活科」の教科目標を具体例に基づいて理解する。</p> <p>大自然を「探険」するのに必要な知識や手だてを獲得するには、文字や映像などを通して間接的に経験するだけではなく、自分自身の体や五感を駆使して直接体験することが重要である。「タネまきから、食べ、出し、後始末するまで」「原料づくりから、製品を使い、処理するまで」など、一貫したプロセスを実際に体験することを通して、「生活科」の教科目標を理解し、実現する知識と技能の獲得をめざす。</p> <p>「晴耕雨読」臨機応変、天候や植物の成長にあわせて授業内容を組み立てていく。</p>		
授業計画	<p>○講義(週2時間、15週、計30時間)</p> <p>01. はじめに 02. 労作教育 03. 体験活動 04. 生活科 05. 風土と作物 A 06. 風土と作物 B 07. 風土と作物 C 08. 風土と作物 D 09. 風土と作物 E 10. 植物と光 11. 植物と水 12. 植物と空気 13. 植物の花、たね 14. 植物の花葉、茎、根 15. まとめ</p>	<p>○実習1(学内、計30時間)</p> <p>01. はじめに 02. 野菜の栽培(春) 03. " "(夏) 04. " "(秋) 05. " "(冬) 06. 野菜の収穫 07. 野菜の加工 08. 野菜の調理 09. 草花の栽培(春) 10. " "(夏) 11. " "(秋) 12. 草花の利用(春) 13. " "(夏) 14. " "(秋) 15. まとめ</p>	<p>○実習2(学外、計30時間)</p> <p>01. はじめに 02-05. 森林管理と木工作 06-09. 地域の生産活動体験(地域との連携) 10-13. 地域活動への参加 14-15. まとめ</p>
教科書 参考書	なし		
評価方法	授業への参加、小テスト、試験、レポート、課題研究などをもとに評価する。		
事前準備学習 履修条件等	児童教育専攻2年次生の必修科目。 *クラス指定*		